

# 戦後ニッポンの抽象

山口長男  
《向》  
1963 年

2017 年 2/22(水) ~ 3/26(日)

休館日：火曜日

開館時間：10 時～17 時（入館は 16 時 30 分まで）

入館料：一般 300（240）円、高校生 180（140）円、小中生 120（90）円

※（ ）内は 20 人以上の団体料金。呉市在住または通学の高校生以下、

呉市在住の 70 歳以上、はたちのパスポート・障害者手帳等をお持ちの方は無料（要証明書）。

呉市立美術館

KURE MUNICIPAL MUSEUM OF ART

〒737-0028 呉市幸町入船山公園内  
Tel. (0823) 25-2007 Fax (0823) 24-9813  
<http://www.kure-bi.jp/> [kure-bi@abeam.ocn.ne.jp](mailto:kure-bi@abeam.ocn.ne.jp)

# 戦後 日本の 抽象

2017 年  
2/22(水)～3/26(日)



菅井汲《鬼の鎖》1963 年

美術における抽象表現は 20 世紀初めのヨーロッパで始まり、日本の若い芸術家たちはそれに刺激され、新たな表現を探求しました。そして第二次世界大戦を経験した後、日本国内では「具体美術協会」や「もの派」をはじめとする日本独自の美術運動が次々とおこります。海外を拠点に活動する作家も増え、日本人の作品は世界を驚かせることとなります。本展では呉市立美術館のコレクションから、山口長男、斎藤義重など日本の抽象表現を戦前から牽引した先駆的な作家や、白髪一雄、堂本尚郎、菅井汲ら国内外で高く評価された、戦後の日本美術を代表する作家たちによる抽象作品を約 30 点展示します。

今回は平成 28 年度から発足した「呉市立美術館高校生キュレータークラブ」のメンバーも作品の選定に携わり、戦後の抽象美術や作家について研究した成果を発表します。

また、平成 27 年度の新収蔵品から、新制作協会に所属し現在も精力的な活動を続ける鶴見雅夫の抽象絵画もご紹介します。



猪熊弦一郎《光のある遊園地》1983 年



白髪一雄《動く赤色》1970 年

## ■ギャラリートーク（申込不要）

展示の見どころを、担当学芸員が解説します。（約 30 分）

日時：①2/22(水)14 時～ ②3/19(日)11 時～・14 時～

場所：1 階展示室



3/19 は高校生キュレータークラブのメンバーによる解説があります。「メンバーの一人ひとりが案を出しあい、より感動を深められるように頑張ります。」「抽象ならではのインパクトの強い作品たちをどうぞご覧ください。」（呉市立美術館高校生キュレータークラブメンバー）

- ギャラリートークの参加費は無料です。（ただし、入館料が必要となります。）
- コレクション展開催中の第 3 日曜日（家庭の日）は、呉市内の中中学生以下の方に同伴される保護者の方も、入館料が無料になります。

## ■呉市立美術館ボランティアスタッフ募集

当館の活動に関心をお持ちの方を対象に、美術館の仕事をサポートしていただくボランティアスタッフを募集します。

◇任 期：平成 30 年 3 月 31 日まで

◇活動内容：教育普及サポート（学校団体鑑賞やワークショップ等の補助）、広報サポート（展覧会広報物の発送の補助）、美術館運営サポート（資料整理等の補助）、その他（自主勉強会など）

◇応募資格：高校生以上で、月に 2 回程度の活動が可能の方。美術に関心があり、積極的に活動する意志のある方。

◇応募方法：専用の応募用紙にご記入のうえ、直接ご持参いただくか、郵送、Fax、e-mail でお申込ください。

詳しい資料や応募用紙は美術館で配布しています。（公式ホームページからもダウンロードできます。）

◇お申込先：〒737-0028 呉市幸町入船山公園内 呉市立美術館 / Fax：(0823)24-9813 / e-mail：kure-bi@abeam.ocn.ne.jp

◇お問合せ：呉市立美術館 Tel：(0823)25-2007